

新型コロナウイルス感染防止に関する取り組み

日本政府、日本ラグビーフットボール協会、他スポーツ競技団体などの見解・取り組みを踏まえて、関西ラグビーフットボール協会の当面の対応案をとりまとめる。

1. 日本政府、専門家会議の見解・要請

■ 2月26日 日本政府の要請

感染の流行を終息させるために、今が極めて重要な時期。この1～2週間が感染拡大防止に極めて重要であることを踏まえ、多数の方が集まるような全国的なスポーツ、文化イベントなどについては大規模な感染リスクがあることを勘案し、今後2週間は中止・延期または規模縮小などの対応を要請する

■ 2月25日 専門家会議の見解

国内の感染が急速に拡大しかねない状況で、これから1～2週間が急速な拡大に進むか、終息できるかの瀬戸際となる。風邪や発熱などの軽い症状が出た場合には、外出をせず、自宅で静養を。これからとるべき対策の最大の目標は、感染拡大のスピードを抑制し、可能な限り重症者の発生と死亡を減らすこと。症状の無い人も、それぞれが一日の行動パターンを見直し、リモートワーク、オンライン会議などの出来る限りの工夫を。

2. 関西協会としての取り組み方針

(1) 3月16日までの対応

・大会、イベント、会議（講習会や研修会を含む）等は、すべて「中止または延期」する。

(2) 4月以降の対応

・大会、イベント、会議等の対応は、今後の推移を注視し、最新の政府方針、スポーツ団体の対応内容等を踏まえて3月16日までに決定。
・なお、準備期間等を考慮し、上記決定に先立ち開催有無を決める必要がある場合は「中止または延期」とする。

(3) その他

・今般の対応により安全・インテグリティ推進講習会、スタートコーチ講習会・セーフティアシスタント講習会等が中止・延期されることで、規程に定められている6月末の時点で要件を満たさないチームが存在することが懸念される。その対応策として、該講習会の可能な限り速やかな実施や登録に際して相応の猶予を与える等の方策について検討して行きたい。
・多数のファンや地域住民の皆さんの集客を前提に計画しているNZU交流試合（5月2日、花園、有料試合）と関西セブンズ（4月12日&19日、熊野市&花園）については、3月16日時点で状況の好転が見込まれなければ、「中止」を視野に入れて関連機関（NZU、関東協会、熊野市ほか）との調整を進める。